

◆職場内家庭教育研修会◆

株式会社 ニデック

日時：令和8年7月31日(金) 午前10時30分～

会場：株式会社ニデック 会議室「羅針盤」

講師：愛知文教女子短期大学 非常勤講師

清水 茂 氏

職場と家庭の調和を考えるセミナー

よりよいコミュニケーションづくり



当社の「ファミリーデー」(※1)開催日にあわせて、「職場と家庭の調和を考えるセミナー」を開催し、18名の社員が参加しました。

セミナー冒頭では、「8月8日は何曜日ですか？」という頭の体操からスタート。日付の法則や言葉遊びを交えた軽快なトークに、参加者は楽しみながらセミナーへ引き込まれました。また、8月8日は当社の創業記念日でもあり、ちょうど55周年の式典を控えていたことから、参加者の印象に残る導入となりました。

はじめに、メラビアン法の法則をもとに、表情や声のトーンなどの非言語情報が与える影響について学びました。また、無表情や疲れた印象を与える表情が相手に及ぼす影響や、表情筋トレーニング、自然な笑顔づくりの実践方法なども紹介されました。

(※1) ファミリーデー：社員のご家族を会社にお招きし、職場見学や体験ブースへの参加を通じて、社員が働く環境や会社への理解を深めていただく恒例イベント



【表情づくり】

さらに、人間関係タイプ診断やエゴグラムによる自己分析では、タイプごとの特徴やアドバイスも示され、職場だけでなく家庭でのコミュニケーションを考えるヒントにもつながりました。

今回は、営業、企画、開発、製造など幅広い職種の社員が参加しましたが、職種や仕事内容は異なるものの、自己分析やコミュニケーションタイプ診断を通じて多くの参加者が新たな気づきを得ており、「自分の傾向を客観的に理解できた。」「職場や家庭でのコミュニケーションに活かしたい。」といった感想が寄せられました。

社内で実施した事後アンケートでは、回答者の83%がセミナーに対して「大満足」または「満足」と回答。また、「今後の職場や家庭でのコミュニケーションにとっても役立つ」「役立つ」と回答した割合も83%となり、多くの参加者から高い評価を得ました。特に印象に残った内容としては、「自己分析・自己理解」が最も多く、次いで「コミュニケーションタイプの理解」「表情が相手に与える印象」が挙げられました。エゴグラムによる分析では、自分の強みや特性を客観的に把握できたことに加え、「理想の自分とのギャップがストレスの要因になっていることに気づいた」といった声も多く、自身を見つめ直すきっかけとなったようです。

今回のセミナーを通じて、参加者一人ひとりが自分自身のコミュニケーションを振り返り、より良い人間関係づくりに向けたヒントを得ることができました。今後、職場や家庭でのさまざまな場面で学びが活かされることが期待されます。

参加された方々の感想より

- エゴグラム診断の結果が自分の性格や考え方にぴったりで、「まさにその通り！」と驚かされました。
- 理想の自分とのギャップがストレスにつながっているという分析が印象的で、自分自身を見つめ直すきっかけになりました。
- 表情づくりや顔のマッサージなど、日常生活に取り入れやすい内容が多く、講師の話方や表情そのものも学びになりました。